

不動産
よもやま話

やっと本格的な春の訪れを感じさせる、暖かい日が多くなってきました。寒さで縮こまっていた肩の力がふっと抜けるような今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。早いものでもう3月です。暖かさと共に本格的なスギ花粉の飛散が始まり、マスクや眼鏡を手放せない方も多い事でしょう。せめてこれ以上、中国から黄砂やPM2.5が飛んで来ない事を祈るばかり…私も含め花粉症の方には悩ましい季節でもありますね。さて、今月は我々不動産業界にも影響がありそうな、マイナス金利導入のお話です。

1月下旬の日銀政策決定会合で、日本初となる「マイナス金利」の導入が決定されました。さて、マイナス金利とは一体何なのか良く御存じの方も多いと思いますが、あえてここでおさらい…マイナス金利となると預金している分の利子を銀行へ払わなければならない、これがマイナス金利です。とは言え我々が利用する銀行の預金利子がたちまちマイナスになるという事ではありません。各金融機関は日本銀行に口座を持っています。そこに2月16日以降、新たに預ける当座預金の金利を、現行の0.1%から-0.1%に引き下げる事に決められたのが今回のマイナス金利です（一定割合までは金利0%）。それで結局のところどういう影響が出るのかというと、金融機関としては日銀に預けていると利子がつくどころか支払わなくてはならないので、それなら企業や個人へ貸し出して金利収入を得たり、他の投資に回したりして市場にお金を出回らせ、企業の設備投資と賃上げを促し、景気や物価の上昇を期待しようという意向があるわけです。

では、我々の生活にはどんな影響があるのかというと、住宅ローンや自動車ローンの金利が低くなり、特に住宅ローンについては借り換えで返済額が減る可能性も出てきます。新たに住宅ローンも組みやすくなり、不動産業界は良い影響を受けると言えます。それに反して預金利息率が下がり、三菱東京UFJ、みずほ、三井住友の大手3行は、早くも普通預金金利を過去最低水準の0.001%に引き下げたそうです。そんな中「銀行預金の金利も将来マイナスになるのでは」という不安から、とあるホームセンターでは「たんす預金」用の金庫の売上が伸びているとか。ただ、学識者らで構成する金融法委員会は「預金の利息の金利を預金者が支払う事は契約上できない」とし、「たんす預金」の盗難のリスクなども考慮し、冷静な対応を呼びかけています。とは言え実際にマイナス金利が大きくなると、銀行の収益が圧迫されATMや各種手数料の値上げも考えられますし、すでにマイナス金利を導入しているスイスでは、預金した顧客から手数料を取り始めた銀行もあるとの事。と、将来的な不安要素はありますが、当面我々不動産業者や建設業界には好影響を与えてくれそうなマイナス金利、今後に期待大です。

社員の
独り言

このコーナー、赤ちゃんネタが多いので恐縮ですが、1月21日に私にも第一子となる長女が生まれまして、お宮参りの風習についてお話させて頂こうと思います。私の妻は愛知県出身なのですが、愛知県と岐阜県の一部の地方ではお宮参りを生後3ヶ月でするそうです。一般的には生後1ヶ月前後ですが、地方によっては違うものですね。例えば私の住む京都では、お宮参りの際に、赤ちゃんの額に男の子は「大」、女の子には「小」と紅で書く「綾子(あやつこ)」という魔除けの風習があります。また、親類縁者からご祝儀の入った熨斗(のし)袋を、祝い着にぶらさげる「紐銭(ひもせん)」という風習があり、これは赤ちゃんが生涯お金に困らぬようにという願いを込めたもので、かつては穴の開いた硬貨をまとめて紐に通していたのが、その名の由来だそうです。何れにしましても、妻や義母には「何それ!？」と驚かれてしまいました。

婚姻、出産、お宮参り等、古くからの習慣は地域によって、本当に異なるものですね。これからも京都人の私と愛知県人の妻とは、色々な習慣の違いも出てくる事かと思いますが、それをお互い尊重し、また擦り合わせて新たな夫婦の形にしていくなもこれからの課題になりそうです。

営業：H



証券コード:3277

底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 大阪支店
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階
TEL: 06-4706-0040 FAX: 06-4706-0045

底地くん

